

緑が丘

学校教育目標

自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校
学校通信 NO.2
令和4年5月2日

自分で考えて行動することの大切さ

風にそよぐ木々の緑もまぶしい好季節となりました。桜に代わり生垣のツツジが満開となりました。さわやかな風へのせ、生徒の元気な声が学校に響き渡ります。

さて、先日 PTA 総会が開催されました。今年度も昨年度と同様に感染症対策を取り、規模を縮小しての開催となりました。PTA 役員の皆様には大変ご苦勞をおかけしました。ありがとうございました。また、本来であれば同時にオープンスクールを実施し保護者の皆様に授業や部活動の様子をご覧いただくところですがそれもできず非常に残念に思っています。今後の感染拡大の状況にもよりますが何とか工夫をして皆様に学校にお越しいただく機会を作りたいと考えています。

新年度が始まって3週間がたちました。1年生は入学時には、不安な様子も見られましたが、少しずつ中学校生活にも慣れてきました。新しい友だちができたり、部活動に参加したりと楽しく前向きに生活できています。2年生は後輩ができ、上級生としての自覚が芽生え、大きな成長が感じられます。1年生の手本となるべく日々の生活態度を見直したり、部活動で1年生の指導にあたる場面も見かけます。3年生は最上級生としての自覚を持ち、生徒会活動や部活動でリーダーシップを発揮しています。「緑が丘中学校の顔」として学校生活の様々な場面で昨年度以上に活躍することを大いに期待しています。

さて、今年度も学校教育目標を「**自ら考え 正しい行動のできる 心豊かな生徒の育成**」としました。私たちを取り巻く環境は驚くような速さで変化しています。そのような中で子ども達には自分で判断し意思決定し、他者とともに協働しながら価値や知識を生み出すような資質能力を持つことが求められています。そのためには、今何をすべきなのか、考え判断し行動することが大切となります。例えば、コロナ禍である今日、マスクをつけて生活することが求められていますが、どうしてマスクをつけなければならないのでしょうか。これは新型コロナウイルス感染症の特徴である飛沫による感染を防ぐためにマスクが非常に有効であるからです。しかし、マスクの着用には熱中症のリスクが伴います。だから、運動するときや暑くて息苦しい時には、感染の危険性よりも熱中症の危険性を考えてマスクを外してよいのです。ただし、その際には近距離での会話をしないことが求められます。

このように理由をしっかりと理解すれば自分のとるべき行動が見えてくるのです。指示を待ち自分では考えなかったり、言われたことに従順に従うだけでは変化に対応する力つきません。私達も「教える」だけでなく考えを「引き出す」ことや「寄り添い共に考える」ことで自分で考え、正しい行動ができる生徒を育成していきます。

(校長 西臺士郎)



満開のツツジと校舎

4月にはこんなことがありました。

4月7日（木）2・3年クラス発表、着任式
始業式。8日（金）第47回入学式、対面式など
が行われました。



3年クラス発表



2年クラス発表



着任式



始業式



入学式



対面式



生徒会・部活オリエンテーション



離任式



生徒会専門委員会



自転車安全教室

5月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。

※新型コロナウイルス感染症の状況によりましては、予定を変更することもあります。

《毎週水曜日に定時退勤日(18:00)に取り組んでいます。ご理解とご協力をお願いいたします。》